YUGAWARAブランド発信　パーク

YUGAWARA

コンセプト

～仮設住宅からの発信　復興へ　そして街おこしへ～

物にあふれた生活を見直し、幸せの価値観とは？と改めて考える。コンパクトで魅力ある街を創り出す2年間。
仮設住宅でのコミュニティを、ポジティブなリスタートと位置づけ、この街から「YUGAWARAブランド」を生み出す。

素早くシェルターを建設できる工夫 → 取り急ぎの仮設暮らし → 日々の小さな幸せを取り返す　みんなで作る・食べる・楽しむ → ワークショップ　知恵を出し合う → ブランド発信

設　計　主　旨

●未来への提案
①仮設住宅からYUGAWARAブランドを発信→復興・街おこしへ。
②体験型防災学習プログラムの開発。

●アイディアソン・ハッカソン大会から。
コミュニティを育むシステムが必要：食のワークショップ・DIYの場。
仮設住宅を自分らしく、生活しやすくする設備や場の提供。

●配置計画
緑と海、中心に「みんなの広場」
YUGAWARAブランド作りの仕掛けを外側に配置
海を望む場所にオープンデッキ・・カフェ・憩いの場
足湯・・子どもも大人も高齢者も癒しの場
アクティブゾーン・・音楽に触れたり身体を動かしたりできる場
テントゾーン・・衣服・生活用品フリマ、出前屋台や青空市場
ペットも一緒に避難できるためのペットの居場所
ITステーション・・全国から情報を受信しながら、湯河原情報を発信
湯河原町に点在している工房情報や出前ワークショップ発信

●施工性・快適性・安全性・プラン
①道路付の良い周辺部を仮設テントゾーンとする。建設時は資材置場、完成後はボランティア仮設テントゾーン、イベントのエリアマネージメントゾーンと、その時々に必要な形に変化して対応。
②プランは9坪住宅を基本に6坪、12坪を検討。内部は設備以外はワンルームとし、DIYで製作可能な家具で仕切る事も可能。家ごとに個性が出せる。
神奈川県産の間伐材でパネルを用意。
本棚・食器棚・靴入れ・物入れ・テーブル・ベンチ等を30センチ、450センチ、60センチ、750センチ、90センチのモジュールで作ることができる。

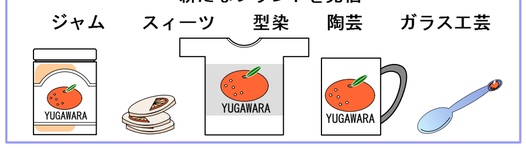
●ストレス負荷低減
こもることがないように、家の延長となる広場を設け、海が見えるデッキにカフェ、癒しの足湯、身体を動かし、ガーデニングや畑ができる空間も設置。

●コミュニティ・健康維持
●生活基盤
既存建物を湯河原町役場出張所と位置づけ、住民のコミュニティセンターの役割を担い、健康維持や生活基盤に関する相談の場として整備する。
住宅をグループ分けし、1グループ３，４人体制の見守りチームを作る。
町役場連携を強化する。

DIYステーション

■趣味の場　同じ趣味の人達でコミュニケーション
■住まいに手を入れたい時に利用
・Sewing&Washスペース
裁縫台・ミシン・大物洗濯やアイロン
その他必要な設備。
・木工スペース
日曜大工仕事やペンキ塗りができる。
鋸、かんな、電動ドリルなど完備。

2年後は・・・
YUGAWARAブランドの企画開発・製作へ
湯河原を根拠地として創作活動している工房の協力で
新たなブランドを発信
ジャム　スィーツ　型染　陶芸　ガラス工芸



時間とともに変化するゾーン
資材ストック・物資受渡し

現在の道路を利用して建設時に素早い資材搬入
全国からの生活支援物資の受入、ストック
ボランティアデスク

2年後には・・・
テントゾーンと共に
YUGAWARAブランドのマネージメントエリアへ

テントゾーン

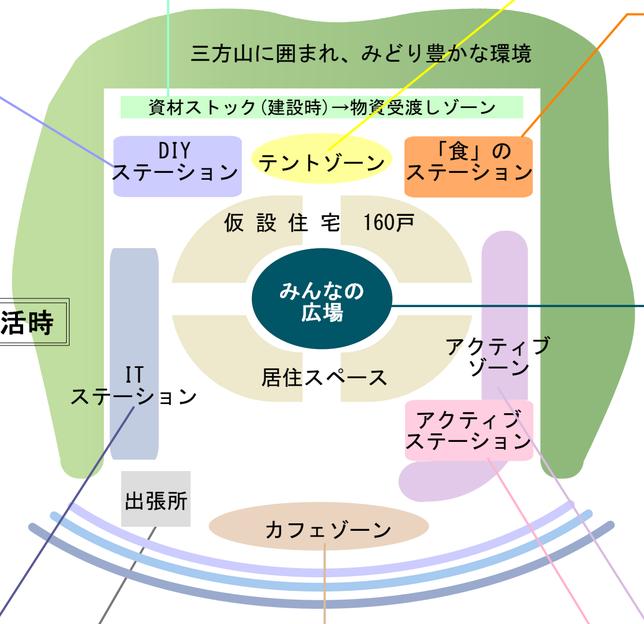
仮設テントでの柔軟な対応
ペット避難所
衣服・生活用品フリマや野菜市・フェス

2年後には・・・
YUGAWARAブランドのマネージメント。体験ブース。

食のステーション

～みんなでつくる・食べる～
住宅台所では出来ない調理や、大勢で料理を楽しむための設備。
交流しながら作り食べながら、新しい料理・昔の料理で交流。
乳幼児・単身者・高齢者が一緒に食を楽しみ、不安や負担を軽減。

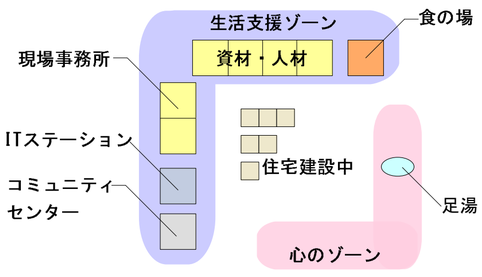
2年後には・・・
YUGAWARAブランドのジャム・惣菜・スィーツ工房へ発展。



みんなの広場

～コミュニティ全体の中心～
デッキで家と家をつなぎ、
気軽に外に出るきっかけとなる広場を中心に設ける。
食事をしたりおしゃべりしたり井戸端会議のできる
家の延長スペース。
それぞれの世代が集まりがあったり
子どもも大人も世代間でやりとりができる場に。
・足湯・ひなたぼっこ・井戸端会議・こどもの遊び場
・季節のイベント、冬はクリスマスツリー・夏は七夕飾り
・ライトアップで夜の散歩
・コンサート、野外劇、大道芸
・DIYの屋外作業空間。

災害時 ► 仮設住宅生活時



ITステーション

全国・海外からの情報が集まる情報受信基地
＋
仮設住宅からYUGAWARAブランド発信基地
・被災地の生活基盤再建のためのノウハウ・情報を収集
・湯河原に点在する工房やアーティストの
出前ワークショップや作品インフォメーションの発信

湯河原町役場出張所

仮設住宅住民のための
コミュニティセンター

健康管理センター
24時間体制

カフェゾーン

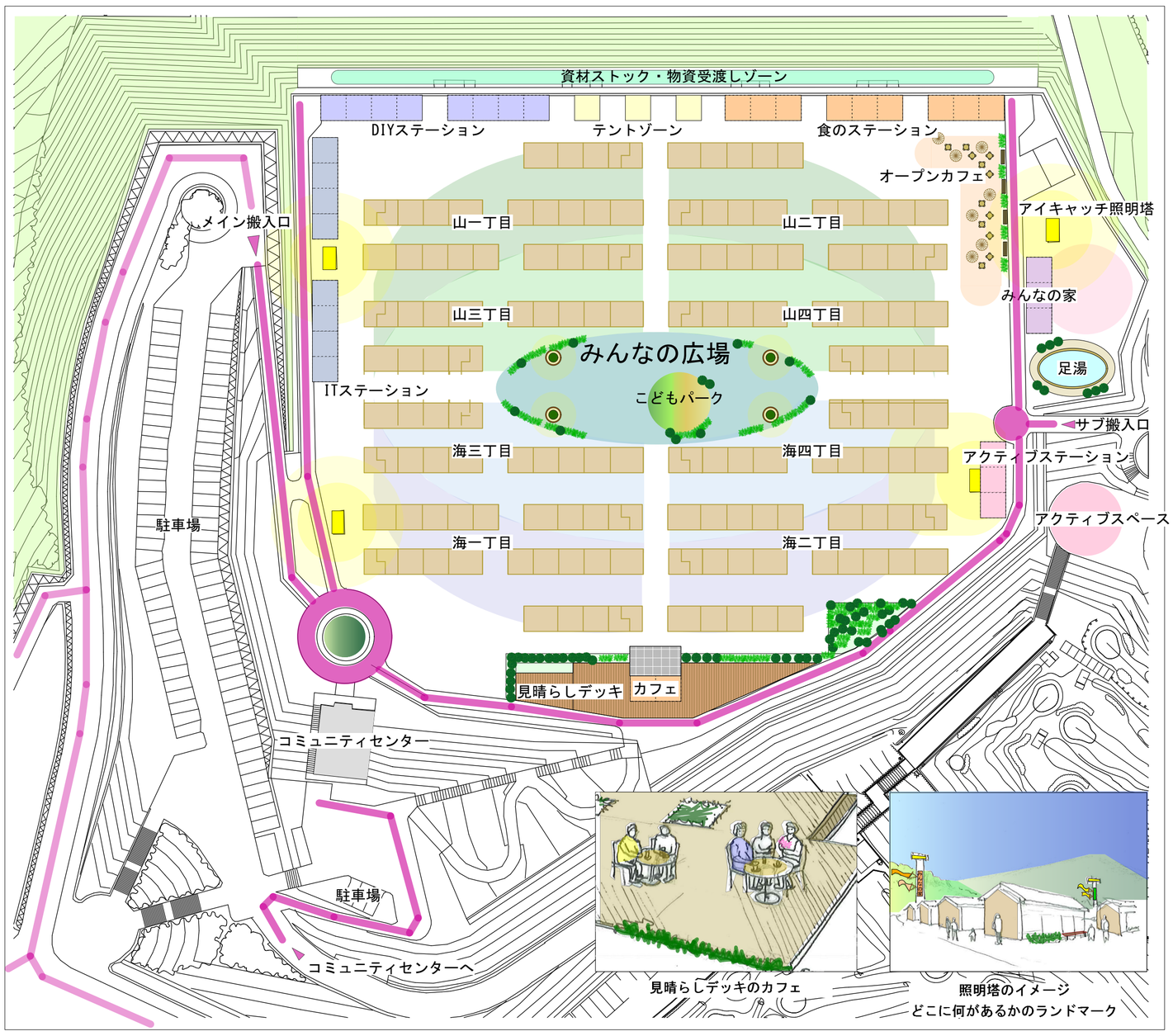
海を望む場所にカフェ。
気軽に寄れるオープンデッキ。
仲間を集まることもできる。
風景に癒される場としたい。
ベンチやテーブルはDIYで。

アクティブゾーン

・みんなで楽しむガーデニング
・ウォーキングコース
・ダンス・盆踊り・ラジオ体操
・子どものアートワークショップ
・畑で野菜づくり
→食のステーションとのつながり
→カフェとのつながり

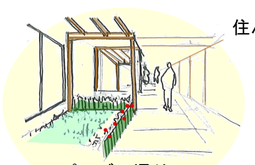
アクティブステーション

・みんなの家　高齢者：デイケア・ショートステイ
乳幼児：保育園・一時預かり
・アクティブゾーンのプログラムマネージメント

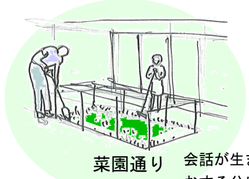


災害時に必要なこと　＝　スピーディーな「居場所」提供
モジュール　～5460～　に統一した仮設住宅・施設の設計
2年後にリユースできる汎用性も持たせたシステム

玄関脇にベンチをDIY



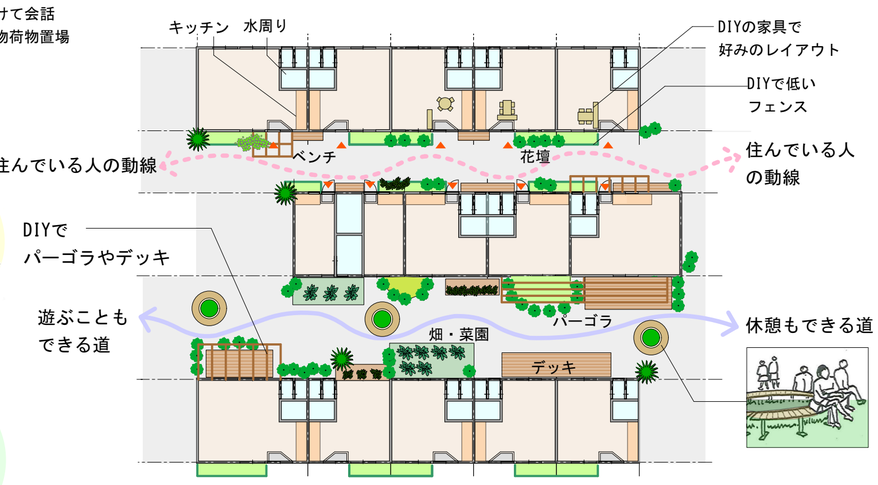
パーゴラ通り



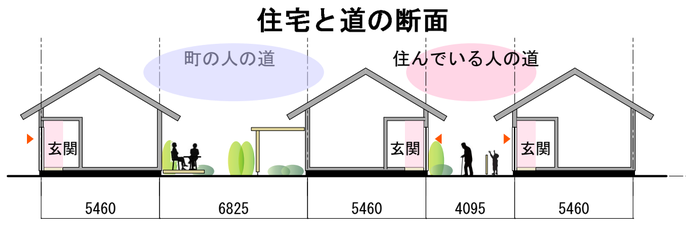
菜園通り　会話が生まれる。おすそ分けもできる。

仮設住宅の配置

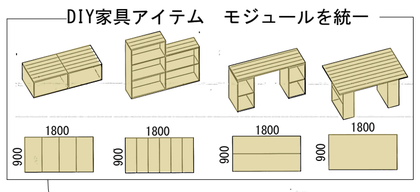
北入りプランと南入りプランの玄関を向かい合わせた配置と道
水回りは北側にし、南側へ開いた住戸にしている。

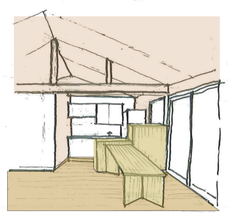


住宅と道の断面



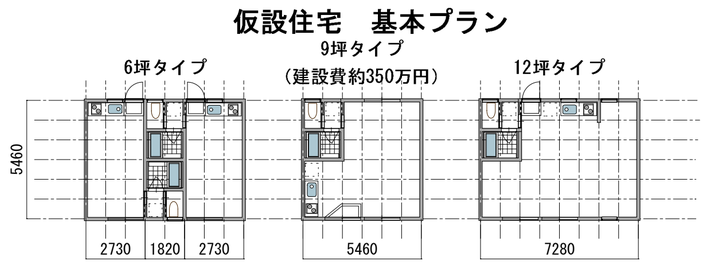
DIY家具アイテム　モジュールを統一





DIY家具の
部屋のイメージ

仮設住宅　基本プラン



YUGAWARAブランドパークの流れ

災害時 ──→ 仮設住宅の2年間　変化しながら寄り添う ──→ 新たな発見 ──→ 復興へ

素早い仮設住宅の建設 → 仮設住宅の2年間　安心・健康→活動へ（未来への希望を照らすために） → その後の役目 YUGAWARAブランド発信の地

建設資材の搬入路確保
充分なストックスペース
作業員の宿泊用テントゾーン

ボランティアの受付・マネージメント

テントブースの企画運営
ニーズへの対応（生活用品の調達）
体験コーナーや出前ワークショップを運営

YUGAWARAブランドの発信
町の工房からワークショップ・体験の場の提供
↓
ドライブ途中の立ち寄りスポットへ

井戸・浄水設備で水確保
温泉によるシャワー設備

マネージメント機能の整備
コミュニケーションのためのデッキテラス

コミュニケーションの場へ
広場・足湯・カフェ
DIYの場（住まいの質向上へ）
全国からの情報の収集・湯河原町情報の発信

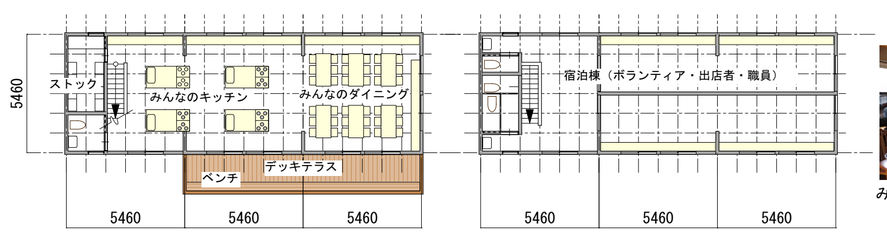
集客のための工夫
インターネットで
YUGAWARAブランド発信
町の情報発信

YUGAWARA
ブランドの確立

湯河原町の町おこし

YUGAWARA

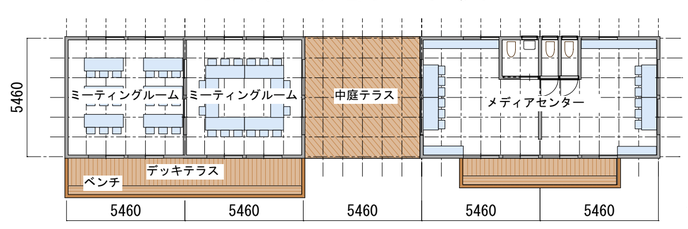
食のステーション　みんなのキッチン　プラン

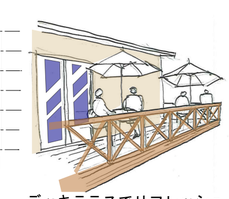


1　階　　2　階

みんなのキッチンのイメージ

ITステーション　プラン





デッキテラスでリフレッシュ

どんな人も
暮らしやすい
早く笑顔になれる場所へ